

令和3年度「市長と語り合う会」について（匹見下地区）

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和3年 5月17日（月）	匹見下公民館	19:00～19:45	8	6	14

- 市側出席者
市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

2 会の概要

- 開 会（秘書課長）

※新型コロナウイルス感染症の市内感染拡大に対応し、この会について急遽時間を短縮して行うことを説明し、理解を求める。

- ・ 会の趣旨説明
- ・ 出席者紹介

- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

1. 令和3年度施政方針「コロナ対応と次の跳躍への備え」

新型コロナウイルス感染症の拡大がこの益田市内でも大変な勢いで進んでいる。市内での感染は2月上旬までに19人が確認されていたが、連休明け後の6日間で23人の陽性が確認された（17日現在）。世界的に使われる感染状況指針である「直近の一週間での人口10万人当たり感染者数」に益田市の状況を当てはめると50人となり、全国的にも高い数値となる（本来は県単位で考察するための基準であり、この期間のみを切り取った数値であることは留意する必要がある）。市民に一層の感染防止を呼び掛けていく。また感染者や家族への中傷、真偽不明な情報の拡散などを防ぐための啓発を行っていく必要がある。

・ ワクチン接種

今考えられる感染拡大への対処法としてほぼ唯一といえるものである。懸念されるアナフィラキシーは適切な処置により重大化を回避できるし、副反応については免疫獲得の証左という面もあり、全体として接種のメリットが高いことは確実である。自分だけでなく周囲のためと捉えていただき、ご協力いただきたい。現在医師・看護師・救急隊員など医療従事者等への接種を優先して進めている。24日からは高齢者施設について、利用している高齢者と介護等の業務従事者への接種を開始し、31日からは一般の高齢者の受付を、6月中旬から接種を開始する。匹見地区では集団接種（匹見下地区は同公民館）を予定している。

- ・ 庁舎、学校等のオンライン化
- ・ 交通インフラ及び都市基盤整備
- ・ 先端開発推進
- ・ 日本遺産認定を活かす施策
- ・ 益田市型中高一貫教育の実現に向けた取組

以上については時間の都合で今回は割愛する。

2. 美都・匹見総合支所の体制の見直し

今年度は美都・匹見6地区に特にこの会を設定し、見直しについて説明をすることとした。合併以来、旧町役場に支所を設置し部長級の支所長を配置してきたが、課長級を統括職員とする編成に変更し、支所で行っていた業務を本庁で統合して行えるようにすることとしたい。令和4年度からは総合支所ではなく、匹見地区住民課（仮称）などとして行う考えである。地区のみなさまとしては益々体制が縮小され住民サービスが低下するのではないかという不安を持たれるかと

思うが、匹見地区は現支所内に職員を配置し、住民に密接にかかわる業務は地区で完結できる体制を整えていく。ぜひともご理解ご協力をお願いしたい。

- 意見交換
質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。
 - ① 広域圏住民サービスについて
 - ② 支所見直しによる影響について
 - ③ 匹見峡温泉について
 - ④ 表匹見峡と温泉について
 - ⑤ 公民館の整備について

- 閉 会 （秘書課長）

令和3年度「市長と語り合う会」

〔会場 匹見下公民館 開催日時：令和3年5月17日（月）19:00～19:45〕

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 広域圏住民サービスについて 総務省からの話で、住民サービスが十分でなくなる地域において広域圏で体制を作るとい話を聞いたが、市としてはどう考えているのか。</p>	<p>① そうした方向性は今後進むと思う。益田圏域ではすでに津和野・吉賀と広域市町村圏事務組合を作り、ごみ処理・介護認定・消防などを共同で行っている。いま単独で行っている業務をそちらに移管することはありえる。さらに浜田・江津などと業務を共通化していくことも考えられるが、いまのところ具体的な話はない。それ以外に、近隣市町と連携して空港利活用や観光振興などに取り組んでいる。</p>
<p>② 支所見直しによる影響について 支所「廃止」によって具体的にどういうことができなくなるのか。本庁へ出向くようになるのか、その日にできないとか、詳しく教えてもらわないと判断できない。匹見も高齢化が進み本庁とのやりとりが難しくなる。そうしたフォローが必要になる。</p>	<p>② 現在支所で行っている手続き等について、大きな変動はないと考えている。どんなことでも一旦支所で承り、本庁に繋ぐ体制を考えている。一方で専門的な支援が必要な場合は、直に本庁担当課で対応することもあり得る。高齢化に伴う影響についても、そうした視点を持ちながら考えていきたい。</p>
<p>③ 匹見峡温泉について 現状どの様な評価をしているか。また営業時間が集客に適さない設定になっているのではないか。そうした地元の声を意見箱に投書しているのだが、どこで回答をもらえるのか。</p>	<p>③ 匹見地区の拠点施設と認識している。以前の指定管理者の撤退で一時的閉鎖となったが、市直営期間を経て現在の指定管理者による再開にこぎ着けた。飲食・宿泊は再開できていないが、観光の面からも施設をフル活用できるようにしていきたい。営業時間が短いという認識はなかったが、ご意見を踏まえて検討したい。意見箱については承知していないので、持ち帰り確認する。</p>
<p>④ 表匹見峡と温泉について 表匹見峡が忘れ去られているように感じる。整備・活用を続けてほしい。温泉の管理者は地域住民の貢献を忘れないようにしてほしい。</p>	<p>④ しっかり活用できるようにしていきたい。温泉の管理について、以前の地元密着の経営者の頃は地元中心に多くの方の雇用の場となっていたが、指定管理者の応募が難航したことはお話ししたとおりで、経営維持の難しさを物語る。今後、飲食・宿泊の再開を図る中で地元雇用の機会も考えられるので、ご支援ご協力をいただきながら取り組んでいく。</p>
<p>⑤ 公民館の整備について 中国電力に働きかけて「いいの里会館（匹見下公民館）」に太陽光発電施設を付けてもらったかどうか。0円で設置できるという話を聞いた。また、人工芝を入れて草刈りの労力を軽減してほしい。</p>	<p>⑤ 太陽光発電は環境に優しく、SDGsにも合致するので今後重要な選択肢になると思う。国の施策としては、民間で発電した電気を電力会社が買って、顧客に安く提供するというもので、その差額は国民の分担金でまかなうという現状であり、設置にかかる費用負担は必要になると認識している。また売電による利益を出すこともなかなか難しい。良い方法がないか今後の検討課題である。芝生についても予算がなかなか確保できないが検討課題としたい。</p>